

令和4年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

令和3年

11月：平均気温は上・中旬でやや高く、下旬で高かった。降水量は上旬で極めて多く、中旬でやや少なく、下旬で極めて多かった。日照時間は上旬で極めて少なく、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。

12月：平均気温は上旬で極めて高く、中旬でやや高く、下旬でやや低かった。降水量は上旬でやや多く、中・下旬で平年並であった。日照時間は全ての旬で平年並であった。根雪始は12月17日で平年より1日早かった。

令和4年

1月：平均気温は上旬でやや低く、中旬で極めて高く、下旬でやや低かった。降水量は上旬で平年並、中旬で極めて多く、下旬で少なかった。日照時間は上旬で平年並、中旬で少なく、下旬で平年並であった。

2月：平均気温は上旬でやや高く、中旬でやや低く、下旬でやや高かった。降水量は上旬で平年並、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で少なかった。2月20日の土壤凍結深は12cmで平年より9cm浅く、最深積雪深は76cmで平年より10cm少なかった。

3月：平均気温は上・中旬で平年並、下旬でやや高かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で極めて多く、下旬で多かった。日照時間は上旬で平年並、中旬で極めて少なく、下旬で平年並であった。

4月：平均気温は上旬でやや高く、中旬で平年並、下旬で高かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で少なく、下旬でやや少なかった。日照時間は上旬でやや多く、中旬で平年並、下旬でやや多かった。根雪終は4月7日で平年より1日早く、積雪期間は112日で平年と同じであった。

令和4年

5月上旬：最低気温はやや低く、最高気温はやや高く、平均気温は平年並であった。降水量は44.5mmで平年より10.8mm多かった。日照時間は60.2時間で平年並であった。

5月中旬：最低気温はやや高く、最高気温は極めて高く、平均気温は12.3℃で平年より3.3℃高かった。降水量は24.0mmで平年より9.8mm少なかった。日照時間は69.2時間で平年よりやや多かった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温はやや高く、日照時間および降水量は平均すると平年並であった。根雪前の気温が平年より高く推移し、土壤凍結が浅かったことが特徴的であった。

季節調査

	令和3年			令和4年				
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日 土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)	根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
本年	11.20	12.17	76	12	53	4.7	4.8	5.15
平年	11.9	12.18	86	21	52	4.8	4.26	5.6
比較	11	△ 1	△ 10	△ 9	1	△ 1	△ 18	9

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和4年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R3	11	上旬	7.7	5.9	1.8	11.1	10.9	0.2	3.4	0.4	3.0	155.5	38.9	116.6	5.0	2.7	2.3	7.3	46.4	△ 39.1
		中旬	5.0	3.6	1.4	10.7	8.0	2.7	-1.5	-1.5	0.0	12.0	26.2	△ 14.2	2.0	4.0	△ 2.0	59.7	47.3	12.4
		下旬	2.2	0.1	2.1	7.3	4.7	2.6	-3.2	-5.1	1.9	59.0	20.9	38.1	4.0	3.0	1.0	48.0	51.6	△ 3.6
	12	上旬	1.7	-2.3	4.0	7.2	2.8	4.4	-4.3	-8.0	3.7	52.0	35.7	16.3	2.0	2.6	△ 0.6	59.0	54.2	4.8
		中旬	-2.1	-3.6	1.5	3.4	1.0	2.4	-7.4	-9.5	2.1	6.0	14.2	△ 8.2	2.0	2.6	△ 0.6	51.5	49.7	1.8
		下旬	-6.3	-5.0	△ 1.3	-1.4	-0.4	△ 1.0	-12.8	-11.1	△ 1.7	9.5	15.6	△ 6.1	3.0	2.6	0.4	56.0	57.1	△ 1.1
R4	1	上旬	-8.0	-6.3	△ 1.7	-2.4	-1.6	△ 0.8	-15.7	-12.6	△ 3.1	2.5	8.7	△ 6.2	1.0	2.3	△ 1.3	44.4	53.9	△ 9.5
		中旬	-2.3	-7.8	5.5	0.4	-2.5	2.9	-6.7	-14.4	7.7	44.5	6.3	38.2	8.0	1.4	6.6	27.4	54.7	△ 27.3
		下旬	-7.9	-6.8	△ 1.1	-2.6	-1.8	△ 0.8	-15.9	-13.6	△ 2.3	0.5	22.4	△ 21.9	1.0	3.3	△ 2.3	55.6	52.2	3.4
	2	上旬	-6.1	-7.4	1.3	-1.6	-2.5	0.9	-12.9	-14.5	1.6	0.0	9.1	△ 9.1	0.0	2.3	△ 2.3	60.6	57.1	3.5
		中旬	-6.9	-5.5	△ 1.4	-1.9	-0.6	△ 1.3	-14.1	-12.1	△ 2.0	26.0	11.1	14.9	1.0	1.7	△ 0.7	41.8	54.4	△ 12.6
		下旬	-4.3	-5.8	1.5	0.5	-0.5	1.0	-11.1	-13.6	2.5	9.5	10.2	△ 0.7	3.0	1.6	1.4	33.6	55.5	△ 21.9
	3	上旬	-2.3	-3.0	0.7	2.6	1.4	1.2	-9.7	-9.1	△ 0.6	7.5	39.8	△ 32.3	3.0	3.2	△ 0.2	58.6	49.4	9.2
		中旬	-0.3	-1.2	0.9	2.5	3.4	△ 0.9	-2.9	-6.9	4.0	43.5	13.1	30.4	6.0	2.5	3.5	24.1	62.1	△ 38.0
		下旬	1.7	0.4	1.3	7.3	5.1	2.2	-4.5	-4.9	0.4	38.0	11.4	26.6	3.0	2.5	0.5	67.0	71.1	△ 4.1
	4	上旬	3.5	1.9	1.6	9.3	6.5	2.8	-1.3	-2.8	1.5	4.5	42.3	△ 37.8	2.0	3.7	△ 1.7	75.1	55.4	19.7
		中旬	4.3	3.8	0.5	10.8	9.2	1.6	-1.8	-1.1	△ 0.7	3.5	25.1	△ 21.6	2.0	2.8	△ 0.8	56.8	56.9	△ 0.1
		下旬	9.2	6.6	2.6	16.7	13.5	3.2	2.3	0.2	2.1	6.5	20.4	△ 13.9	4.0	3.2	0.8	78.9	67.6	11.3
	5	上旬	8.6	8.4	0.2	16.3	14.6	1.7	1.3	2.9	△ 1.6	44.5	33.7	10.8	5.0	4.2	0.8	60.2	54.8	5.4
		中旬	12.3	9.0	3.3	19.8	15.2	4.6	5.8	3.9	1.9	24.0	33.8	△ 9.8	4.0	3.5	0.5	69.2	56.4	12.8

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況: ー

事 由

耕鋤始は 5 月 15 日で平年と比べ 9 日遅かったが、その後は天候に恵まれ、播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年と同日の 5 月 18 日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.18	5.18	0

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成 22 年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前 7 カ年のうち最豊年の平成 29 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1 番草 平年並

事由

土壌凍結が浅かったことおよび融雪後の天候に恵まれたことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年よりも2年目草地で5日、3年目草地で4日遅かったが、冬損状態は平年よりも2年目草地で0.6ポイント、3年目草地で0.2ポイント低かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で49cm（平年値は43cm）、3年目草地で51cm（平年値は46cm）であったことから総じて平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4.28	4.23	5	1.0	1.6	△ 0.6	49	43	6
「なつちから」3年目	TY単播	4.29	4.25	4	2.0	2.2	△ 0.2	51	46	5

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成27年～令和3年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和3年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注3) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス

作況：1 番草 やや良

事由

土壌凍結が浅かったことおよび融雪後の天候に恵まれたことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年よりも2年目草地で1日、3年目草地で3日早く、冬損状態は平年よりも2年目草地で1ポイント、3年目草地で2ポイント低かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で63cm（平年値は39cm）、3年目草地で30cm（平年値は27cm）であったことから総じてやや良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.24	4.25	△ 1	1.0	2.0	△ 1.0	63	39	24
「ハルジマン」3年目	OG単播	4.25	4.28	△ 3	1.0	3.0	△ 2.0	30	27	3

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成27年～令和3年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和2年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平年値。

注3) △は減を示す。

メドウフェスク

作況：1 番草 やや良

事 由

土壌凍結が浅かったことおよび融雪後の天候に恵まれたことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年と比べ2年目草地は同日、3年目草地は1日遅かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で1.8ポイント、3年目草地で2.4ポイント低かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で40cm（平年値は34cm）、3年目草地で32cm（平年値は24cm）であったことから総じてやや良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	4.28	4.28	0	1.0	2.8	△ 1.8	40	34	6
「まきばさかえ」3年目	MF単播	4.29	4.28	1	1.0	3.4	△ 2.4	32	24	8

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成27年～令和3年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和3年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平年値。

注3) △は減を示す。

令和4年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	施 肥 量 (kg/10a)						栽植様式
		堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
1.サイレージ用								畦間72cm
とうもろこし	11.5	4,000	200	8+4	23	14	3	株間18cm
「たちびりか」								7,716本/10a
2.牧 草								
(1)採草型								
TY「なつちから」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型								
OG「ハルジマン」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	2.0kg/10a
MF「まきばさかえ」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	3.0kg/10a

1)サイレージ用とうもろこしは、地域適応性検定試験の圃場。

2)牧草は、2, 3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3)TY：チモシー、OG：オーチャードグラス、MF：メドウフェスク。

4)牧草の施肥量は、上段が造成年(1年目)、下段が2, 3年目草地を示す。